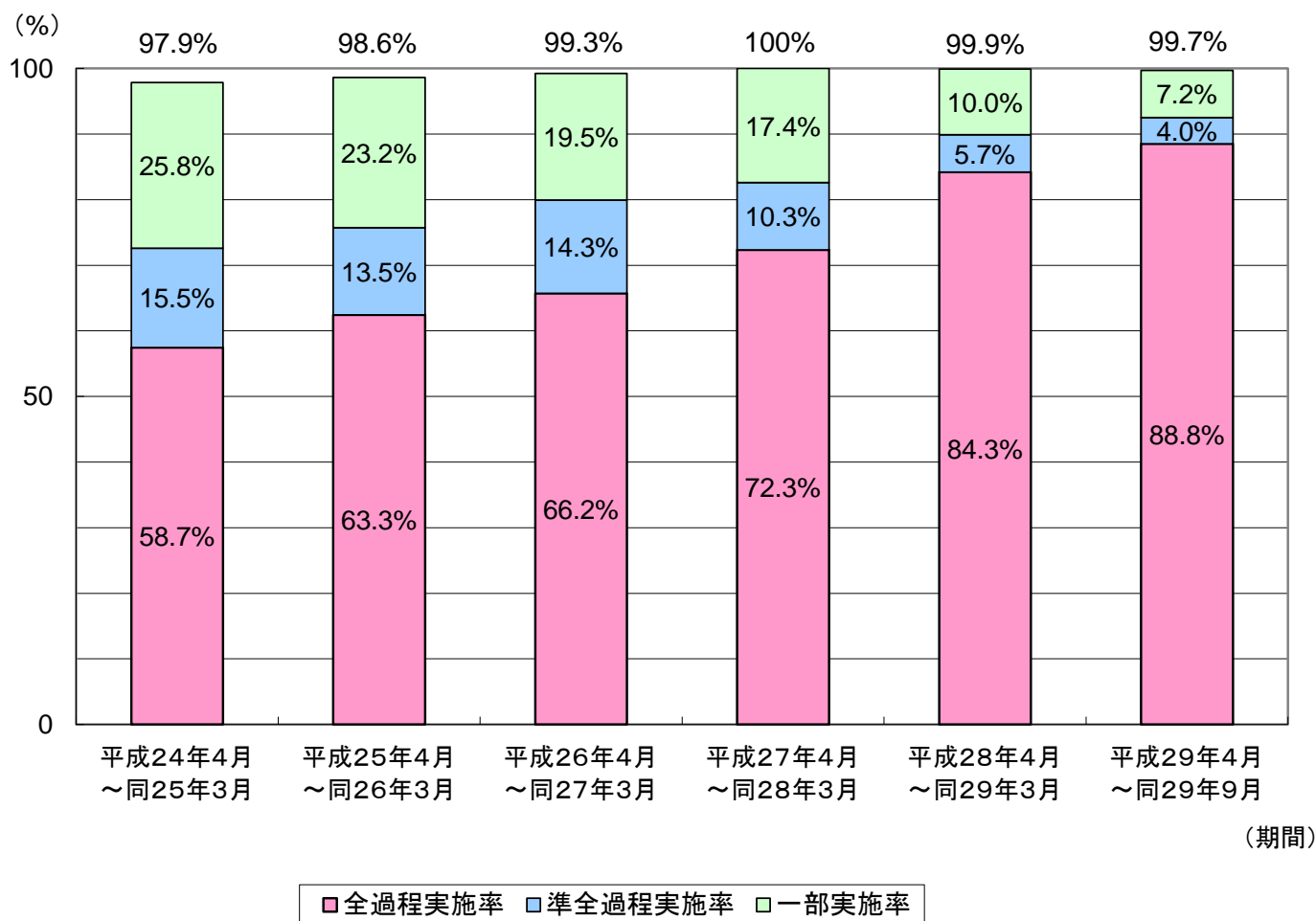


○ 知的障がいによりコミュニケーション能力に問題がある被疑者等

・録音・録画の実施率



・録音・録画の実施件数・実施率

実施期間	総数	実施件数	不実施件数	実施件数の内訳		
				全過程	準全過程	一部
平成24年4月～同25年3月	1,077	1,054 (97.9%)	23 (2.1%)	619 (58.7%)	163 (15.5%)	272 (25.8%)
平成25年4月～同26年3月	1,097	1,082 (98.6%)	15 (1.4%)	685 (63.3%)	146 (13.5%)	251 (23.2%)
平成26年4月～同27年3月	1,210	1,201 (99.3%)	9 (0.7%)	795 (66.2%)	172 (14.3%)	234 (19.5%)
平成27年4月～同28年3月	1,063	1,063 (100.0%)	0 (0.0%)	769 (72.3%)	109 (10.3%)	185 (17.4%)
平成28年4月～同29年3月	881	880 (99.9%)	1 (0.1%)	742 (84.3%)	50 (5.7%)	88 (10.0%)
平成29年4月～同29年9月	348	347 (99.7%)	1 (0.3%)	308 (88.8%)	14 (4.0%)	25 (7.2%)
合計	5,676	5,627 (99.1%)	49 (0.9%)	3,918 (69.6%)	654 (11.6%)	1,055 (18.8%)

(注1)「準全過程実施」とは、事件の送致を受けた段階では、被疑者に知的障がいによりコミュニケーション能力等に問題があることを把握できなかったため録音・録画を実施しなかったものの、知的障がいによりコミュニケーション能力等に問題があることが判明した後の全ての取調べについて録音・録画を実施した事件。

(注2)「実施件数」及び「不実施件数」の()内は、実施・不実施率(総数に占める実施・不実施件数の割合)。

(注3)「全過程実施件数」、「準全過程実施件数」及び「一部実施件数」の()内は、各実施率(実施件数に占める割合)。